

## 7 非正規雇用労働者の労働実態

### (1) 非正規雇用労働者の雇用状況

非正規労働者とは、正規雇用（正社員）以外の雇用形態で働く労働者を指し、契約社員、派遣社員、パートタイマー、アルバイトなどが含まれる。非正規労働者の定義は、労働基準法上の「労働者」であることに変わりはないが、雇用契約の期間や労働条件、キャリア形成の機会などで正規雇用と異なる点が多いため、様々な問題も指摘されている。

#### ①非正規雇用労働者を雇用している事業所数

非正規雇用労働者を雇用している事業所数をみると、全体では69.7%となっている。産業別では、情報通信業が100%、金融業、保険業が94.7%と高く、逆に電気・ガス・水道業は28.6%と低い。

また、短時間正規雇用労働者を雇用している事業所は、全体では14.1%で、学術研究、専門・技術業が55.6%と最も高く、次いで製造業が21.8%となっている。【表18】

【表18】 就業形態別労働者を雇用している事業所の割合

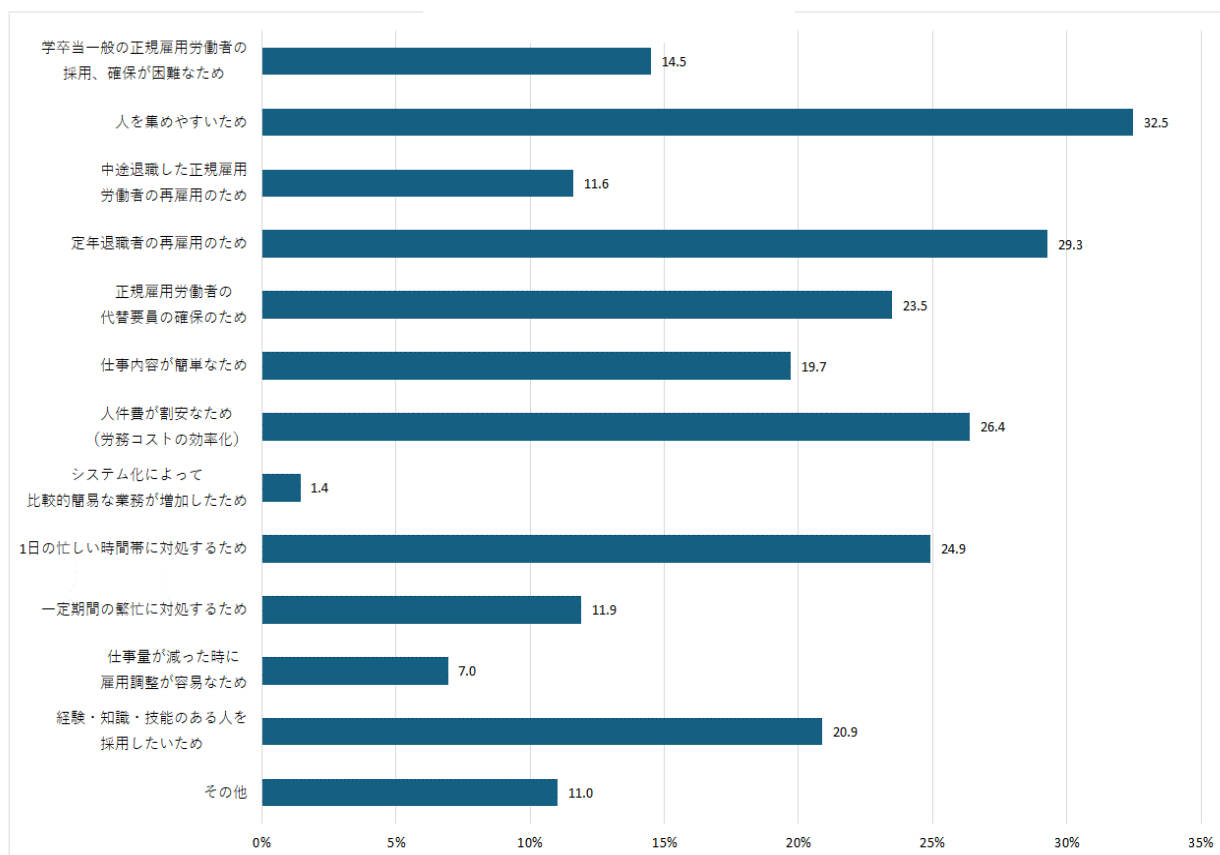
	正規雇用労働者		うち短時間正規雇用労働者		非正規雇用労働者		無回答・不明	
	%	(件数)	%	(件数)	%	(件数)	%	(件数)
調査産業計	84.4%	(418)	14.1%	(70)	69.7%	(345)	6.1%	(30)
5～9人	75.9%	(101)	13.5%	(18)	57.9%	(77)	3.8%	(5)
10～29人	88.8%	(95)	16.8%	(18)	74.8%	(80)	3.7%	(4)
30～99人	91.0%	(61)	22.4%	(15)	79.1%	(53)	4.5%	(3)
100～299人	93.0%	(40)	16.3%	(7)	83.7%	(36)	4.7%	(2)
300～999人	94.4%	(34)	2.8%	(1)	80.6%	(29)	2.8%	(1)
1,000人以上	89.8%	(53)	8.5%	(5)	74.6%	(44)	5.1%	(3)
無回答・不明	68.0%	(34)	12.0%	(6)	52.0%	(26)	24.0%	(12)
建設業	92.5%	(37)	17.5%	(7)	40.0%	(16)	7.5%	(3)
製造業	90.9%	(50)	21.8%	(12)	58.2%	(32)	9.1%	(5)
電気・ガス・水道業	100.0%	(7)	0.0%	(0)	28.6%	(2)	0.0%	(0)
情報通信業	80.0%	(4)	20.0%	(1)	100.0%	(5)	0.0%	(0)
運輸業、郵便業	93.3%	(14)	20.0%	(3)	66.7%	(10)	0.0%	(0)
卸売業、小売業	82.1%	(69)	10.7%	(9)	76.2%	(64)	4.8%	(4)
金融業、保険業	94.7%	(18)	5.3%	(1)	94.7%	(18)	0.0%	(0)
不動産業、物品賃貸業	81.8%	(9)	18.2%	(2)	81.8%	(9)	0.0%	(0)
学術研究、専門・技術業	100.0%	(9)	55.6%	(5)	66.7%	(6)	0.0%	(0)
宿泊業、飲食業	48.3%	(14)	6.9%	(2)	82.8%	(24)	6.9%	(2)
生活関連業、娯楽業	80.0%	(12)	6.7%	(1)	60.0%	(9)	13.3%	(2)
教育、学習支援業	69.2%	(18)	3.8%	(1)	80.8%	(21)	11.5%	(3)
医療、福祉	85.7%	(96)	15.2%	(17)	83.9%	(94)	5.4%	(6)
複合サービス事業	100.0%	(7)	0.0%	(0)	57.1%	(4)	0.0%	(0)
サービス業(その他)	93.3%	(28)	13.3%	(4)	53.3%	(16)	0.0%	(0)
無回答・不明	83.9%	(26)	16.1%	(5)	48.4%	(15)	16.1%	(5)

## ②非正規雇用労働者を雇用する理由

非正規雇用労働者を雇用する理由は、「人を集めやすいため」が32.5%と最も高く、次いで「定年退職者の再雇用のため」が29.3%、「人件費が割安なため(労務コストの効率化)」が26.4%となっている。

【図 38】

【図 38】 非正規雇用労働者を雇用する理由

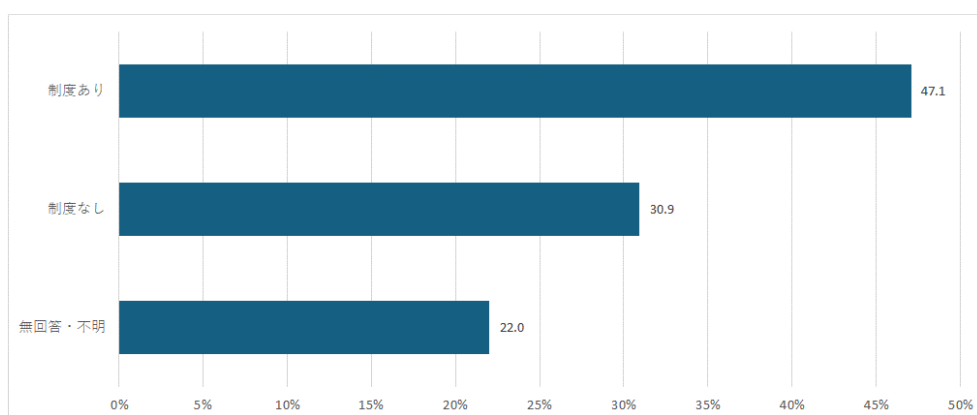


## (2) 非正規雇用労働者から正規雇用労働者への転換

### ①非正規雇用労働者から正規雇用労働者に転換する制度の有無

非正規雇用労働者から正規雇用労働者に転換する制度の有無については、「制度有り」が47.1%、「制度なし」が30.9%となっている。

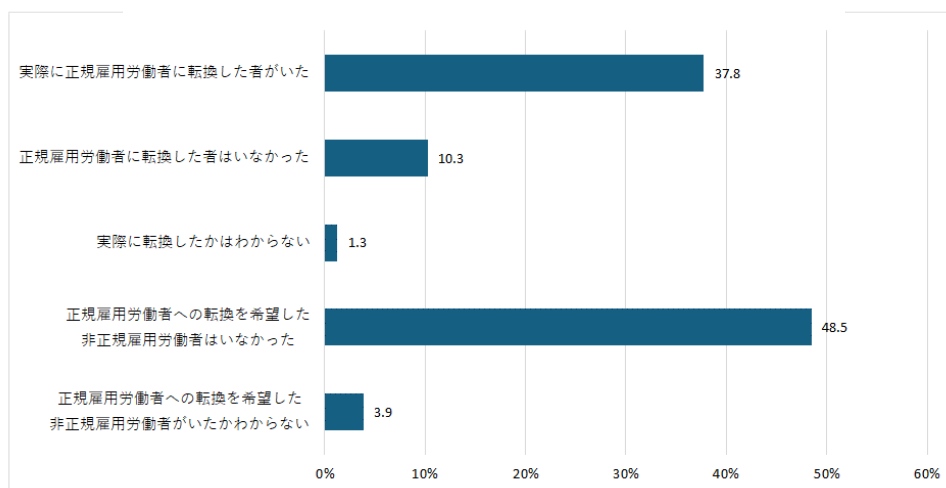
【図 39】 非正規雇用労働者から正規雇用労働者に転換する制度の有無



## ②過去3年間に非正規雇用労働者から正規雇用労働者に転換した実績

過去3年間に非正規労働者から正規雇用労働者に転換した実績の有無については、「実際に正規雇用労働者に転換した者がいた」と回答した事業所が37.8%、「正規雇用労働者に転換したものはなかった」が10.3%となっている。また、「正規労働者への転換を希望した非正規雇用労働者はいなかった」が48.5%と高い値になっている。

【図40】過去3年間に非正規雇用労働者から正規雇用労働者に転換した実績



## ③非正規雇用労働者から正規雇用労働者に転換する際に支障になっていること

非正規雇用労働者から正規雇用労働者に転換する際に支障になっていることの問いには、「支障となっていることはない」が35.6%、「正規雇用労働者への応募が少ない」が22.3%となっている。

具体的な支障については、「正規雇用労働者に転換するには能力が不足している」が17.6%、「正規雇用労働者としてのポストがない」が11.6%となっている。

【図41】非正規雇用労働者から正規雇用労働者に転換する際に支障になっていること

